

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

この調査の調査項目は以下7項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) 読書活動について

読書が好きかどうか、過去1か月間で読んだ本の数、読書をしない理由、身近な人から本を読んでもらった経験、子どもに本や絵本を読んだ経験、子どもへの読書のきっかけづくりで行っていること、子どもの読書への必要な取組、「ひがしおおさか電子図書館」の認知度

(3) 情報通信機器の利用について

普段利用している情報通信機器、利用の仕方がわからないときの解決方法、情報通信機器を利用したいか、活用したい市からのサポート、スマホ・タブレット教室の内容

(4) スポーツ実施実態及びウィルチェアスポーツについて

1日30分以上の運動を週に2回以上行うか、1日30分以上かつ週に2回以上の運動を1年以上継続しているか、1年間に運動・スポーツを実施した日数、1年間で実施した運動・スポーツの内容、1年間に運動・スポーツを実施した場所、運動・スポーツをする目的、東大阪市立ウィルチェアスポーツコートの認知度

(5) 「健康」に対する意識と生活習慣の実態について

飲酒頻度、飲酒量、「節度ある適度な飲酒」の認知度、地域とのつながり、休養・こころの健康づくり、新型コロナウイルス感染症の影響、COPD・ロコモティブシンドロームの認知度

(6) 大型ごみ収集有料化後のごみに対する意識や排出方法について

大型ごみ収集を申し込んだ経験、大型の物を慎重に購入するよう意識するか、大型の物を長く使おうと意識するか、大型の物が不用になった際工夫したこと

(7) 男女共同参画センター・イコーラムについて

「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度、「男女共同参画センター・イコーラム」を知った理由、「男女共同参画センター・イコーラム」で行っている事業の認知度、「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービスや役割、情報紙「HOW(ハウ)」の認知度

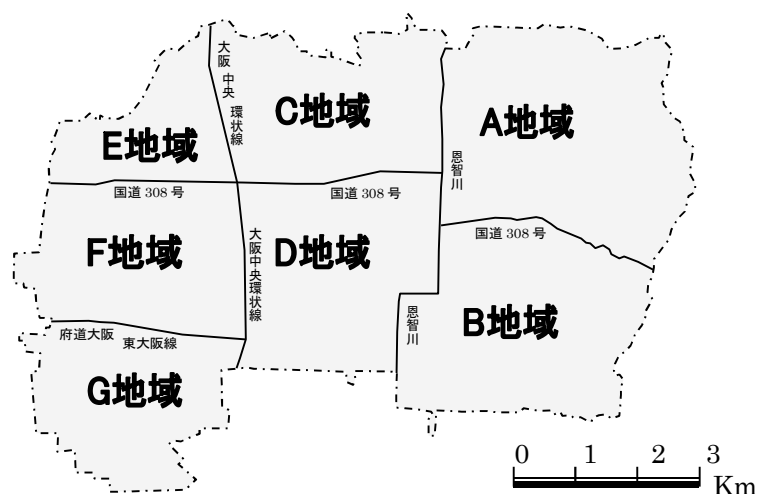
3. 調査設計

- (1) 調査地域 東大阪市内
- (2) 調査対象 市内全域在住の満 18 歳以上の市民
- (3) 標 本 数 2,700 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査法（督促状 1 回発送）
- (6) 調査期間 令和 4 年 8 月 1 日（月）～ 8 月 22 日（月）

4. 回収結果

- (1) 配 布 数 2,700 票（100.0%）
- (2) 回 収 数 1,309 票（回収率 48.5%）
- (3) 有効回収数 1,308 票（有効回収率 48.4%）

5. 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	314	168	53.5%
B地域	318	164	51.6%
C地域	328	158	48.2%
D地域	530	276	52.1%
E地域	212	83	39.2%
F地域	575	280	48.7%
G地域	423	179	42.3%

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第2位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が 100.0% とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100.0% を超える場合がある。
- (3) 比率 (%) は、その回答数を母数として算出している。
- (4) 数値に関する記述は下記の基準にしたがっている。

例：約 3 割 30.0～30.9

3 割強 31.0～34.4

3 割半 34.5～36.0

4 割弱 36.1～39.9

- (5) 「その他」の具体内容は、複数回答している場合があるため、件数の合計が回答者数を超える場合がある。
- (6) 各質問の回収数は (N=) として示している。
- (7) 本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。
MA% (Multiple Answer) = 回答選択肢の中から当てはまるものを 2 つ以上選択する場合

